

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成20年12月11日(木)

■福祉サービス事業者情報

名 称	は た ぶ 園	種 別	知的障害児通園施設
代表者氏名	施設長 坤 徳 正 剛	開設年月日	平成7年2月23日
設 置 者	社会福祉法人 下関市社会福祉事業団	定員(利用人数)	30名(33名)
所 在 地	〒751-0827 下関市幡生本町26番12号		
電 話 番 号	083-233-9850	FAX番号	083-233-9851
ホームページアドレス			

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

施設長のリーダーシップのもと、児童福祉施設として和やかで気配りのある温かな雰囲気を感じられます。

下関市こども発達センターの中核施設として、心身障害児の早期療育・訓練・相談等の事業を実施しています。各専門職の協力体制により、「一人ひとりの発達に応じた」療育支援が行われ、保護者に深い信頼と安心感を持って受け入れられています。

また、保育園・幼稚園との交流保育、ボランティアの育成、公開研修会の実施、レスパイトサービスの提供など、地域のニーズに基づいたサービスの提供や地域とのかかわりを大切にした活動が行われています。子ども発達センターの総合的機能を活用したこれらの取り組みは高く評価されます。

◇改善を求められる点

福祉サービスの質の確保・向上には、目指す理念や基本方針を実現するための計画の策定と実施、及び定期的な評価・見直しが必要です。サービス内容の評価を行うことにより、施設が取り組むべき課題を明確にし、課題に対する改善策や改善計画を立て実行していくという組織としての取り組みが重視されます。そのためにも職員総参画の仕組みを整備されることが求められます。また、個々のサービスの標準的な実施方法についても文書化し、一定水準のサービスが効果的に提供されることが望まれます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

(事業者コメント)

日頃行っている療育や支援について、自己評価するよい機会となりました。全職員で自己評価調査票を記入していくことで、センター全体の良い点、改善すべき点が浮き彫りとなりました。今後、この機会に得た情報をもとに課題を整理し、全職員が足並みを揃えて同じ方向を向き、センターのより良い支援へとつなげていきたいと思えます。

(事業者PR)

こども発達センターでは通園部門、児童ディサービス部門、母子通園訓練部門、発達支援室、相談支援、療育等支援、それぞれの事業を行っています。多方面からの支援を専門スタッフで行っています。お子さんの発達に不安や悩み等がありましたら、どの様なことでも、どなたでもお気軽にご相談ください。

評価報告概要表

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	6	b	5	c	1	Na	0
<p>理念や基本方針は明文化され、職員、利用者に周知徹底されており、施設の目指す方向が内外に明確に示されています。さらに具体的な取り組みを進めるには中・長期計画の見直しと事業計画への反映及び周知が必要です。</p> <p>施設長は職員や利用者に積極的にかかわる中で、それぞれの意向をくみ取り、サービスの質の向上に向けた取り組みにリーダーシップを発揮されています。</p>								

II 組織の運営管理	a	7	b	12	c	2	Na	1
<p>地域の保育園・幼稚園との交流保育の実施や、公開研修会・広報誌の配布等、施設の持つ機能を地域に開放提供するなど地域との交流と連携がなされています。また、実態調査を行い地域の福祉ニーズを把握し、卒園児の保護者等のためのレスパイトサービスを実施するなど評価できます。</p> <p>職員の個別研修計画の作成や実習生の受け入れ体制の整備、安全確保マニュアルの作成等については改善が望まれます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	12	b	2	c	8	Na	0
<p>個人面談や懇談会、アンケート調査、電話相談等、利用者が意見を述べやすい環境が整備され、利用者満足の上昇に積極的に取り組んでいるところは評価されます。施設全体の福祉サービスの向上についてもPDCA(計画→実施→評価→見直し)のサイクルに基づくサービス提供の視点は欠かせませんので、組織としての体制づくりが求められます。また、サービスの提供や評価を行うにあたって、サービスの標準的な実施方法をマニュアル化していくことも必要となります。</p> <p>個別支援計画の策定・評価・見直しについては、多職種の専門職員の参画により実施され、個別のサービス提供が適切に行われています。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	14	b	3	c	1	Na	0
<p>個別支援計画を作成し、一人ひとりの個別性に合わせた療育・発達支援が行われています。また、明るく清潔な施設環境の中で、食事については材質に配慮した食器が用いられ、盛り付けを工夫した季節感のある献立が提供されるなど、楽しい時間を過ごすための工夫がなされています。</p> <p>トイレ環境は設備の面でプライバシーの配慮に十分でないところが見られました。また、権利擁護の問題など困難な課題を職員皆様で検討・研修され、よりよい施設づくりがなされるよう望みます。</p>								